

平成 28 年 12 月 20 日

波賀幼稚園及び波賀みどり保育園保護者
代表 [REDACTED] 様

宍粟市議会議長 秋 田 裕 三

平成 28 年度総務文教常任委員会「おでかけ市議会」報告書

平成 28 年 11 月 25 日に実施しました総務文教常任委員会の「おでかけ市議会」について、
下記のとおり報告いたします。

「おでかけ市議会」で提案されました意見を参考に政策提言に向け、協議させていただきます。

記

1. 開催年月日	平成 28 年 11 月 25 日 (金) 午後 7 時 30 分 ~ 午後 9 時 10 分	
2. 開催場所	波賀市民局 第 2 会議室	
3. 出席委員	高山政信 西本 諭 稲田常実 山下由美 伊藤一郎	
4. 意見交換を行った 団体の概要	団体名	波賀幼稚園及び波賀みどり保育園保護者会
	参加人数	19 名 (傍聴者 5 人)
	活動内容	PTA 活動等
5. 意見交換を行った 目的	市が進める幼保一元化事業に対する波賀幼稚園、みどり保育園の 保護者の思いを聴取し、検証していく。	
6. 意見交換会で出された主な意見 (要約)		
	団体からの意見	委員会としての考え方
	幼稚園の意見 ○幼保一元化に関する各議員の考えを聞いた い。	各委員の考え方 (発言) ○ある程度の人数がないと適正な教育がで き ない。 ○民営化ありきの幼保一元化は反対 ○今まで公立、私立の意識はなかった。民間 は特色ある運営ができています。公立は安定 性がある。 ○民間保育所をつぶすわけにはいかない。 ○質の良い教育を行うためには、ある程度の 財政がないとできない。

- 山崎では公立、民間等様々な選択肢があるが、認定こども園になってしまうと波賀には選択肢がなくなる。
- 子どもの教育と財政を一緒にしてほしい。
- 市の進める計画については理解しているが、当分の間、民間による幼保一元化の「こども園」の推進を凍結してもらいたい。
- こども園は、公立ですべき。
- 民間が運営出来なくなったら、公が責任を持つというならば初めから公立にすべきではないか。
- 広報の幼稚園、保育所の募集を見ると、幼保一元化が進んでいるように誤解する。
- 当初から教育委員会に民間の幼保一元化に反対の立場で意見を言っているが伝わらない。8月1日に民間の「こども園」の募集を聞いてびっくりした。
- 幼稚園PTAは、幼保一元化の引継ぎをしっかりとしているが、自治会はしていないのではないか。
- 今は幼稚園に行かせるか。保育所に行かせるか選択できる。民間のこども園になれば選べない。民間では異動がないので、例えば評判が悪くても選ぶことができない。
- 議員は、もっと自分の目で現場の状況を見るべきである。

保育所の保護者からの意見

- 地域の和を大切にすべきだ。
- 地域がまとまらない現状では、自信を持って友達に帰ってこいと言えない。
- 保育所の保護者は、地域の委員会の役員の引継ぎの際に現状について説明を受けていない。
- 認定こども園について、波賀市民は納得しているのが大切だ。

委員会としての考え方

市議会の活動が見えないとの批判もあり、これまで議会報告会等を開催してきました。

今回、新しく始めました「おでかけ市議会」は、市議会の活動をより解っていただくためには、あらゆるところに出かけていき、身近に感じていただくというものであります。

この度の「おでかけ市議会」で皆さんの貴重な意見を聞くことができ、議員それぞれ認識を新たにいたしました。

前頁の各委員の考え方に記載したとおり、委員会の中でも考え方が異なっています。

しかし、委員会としては、保護者や地域の皆さんの合意を得た上で幼保一元化を推進していくことが重要だと考えます。

集団の規模が小さくなる中で望ましい幼児教育、保育のあり方を市民の皆さんと十分協議することが必要であるため、当委員会としては、教育委員会に対し、保護者や地域の意見を反映するよう求めていきます。

引き続き委員会としましては、幼児の健やかな成長のため、常に地域の声を聞く姿勢を持ちながら、調査研究、市への意見、提言を検討していきます。